

# Road to Jockey Babies

全国各地の地区代表決定戦レポート

ジョッキーベイビーズ出場を目指して全国各地で激しいレースが繰り広げられました。その模様をレポートします。

## 8月19日(土) 東北・新潟地区代表決定戦 JRA福島競馬場「東北・新潟地区代表決定戦 IN 福島競馬場」

8月19日、JRA福島競馬場において「東北・新潟地区代表決定戦 IN 福島競馬場」が行われました。この代表決定戦には東北・新潟地区から5名がエントリー。前日の18日に乗馬技術審査を実施し、全員が決勝に進みました。決勝レースはダートコース直線250m5頭立てで行われ、スタートダッシュを決めた加藤くん、遠藤くんを渡辺くんが追う展開。最後は追いつく渡辺くんを振り切り、加藤雄真くん(小学6年生)が昨年と同じ、「ヒメ」とのコンビで2連覇を達成。東北・新潟地区代表に選出されました。



## 8月6日(日) 長野地区代表決定戦 高ボッチ高原草競馬場「高ボッチ高原観光草競馬大会」

長野地区代表決定戦は、8月6日、標高1,600mの山中にある高ボッチ高原草競馬場(塩尻市)で実施される「第64回高ボッチ高原観光草競馬大会」の中で行われました。同大会には、ポニーやサラブレッド、農耕馬と、バラエティーに富んだ顔ぶれが総勢70頭も集い、迫力あるレースの数々が繰り広げられました。代表決定戦は同大会前半戦の最終レースとして4人馬がエントリーして実施。アップダウンの激しい1周400mのコースを2周する難コースをスムーズに乗りこなし、道中に先頭に立った木村曉くん(小学5年生)が、後続の追い込みを振り切り優勝。見事、長野地区代表に選出されました。



## 8月27日(日) 関西地区代表決定戦 三木ホースランドパーク「みっきいポニーレース」

関西地区代表決定戦は、8月27日、兵庫県三木ホースランドパークの「第8回みっきいポニーレース」の中で行われました。代表決定戦には、総勢8名のエントリーがあり、まず予選2レース(各4頭立て)が行われ、その後、各予選レースの1着と2着の計4名による代表決定戦が行われました。レースは、ダートコース右回り300mで争われ、予選でも好タイムで勝ちあがった後藤蒼二朗くん(中学1年生)が、決勝レースでもスタート後間もなく先頭に立ち、そのままゴールへと駆け抜け東京への切符を掴みました。



## 7月30日(日) 北海道地区代表決定戦 JRA日高育成牧場「浦河競馬祭」

北海道地区代表決定戦は、7月30日、JRA日高育成牧場における「浦河競馬祭」の中で行われました。地区代表決定戦には12名がエントリー。ダートコース直線200mの予選が2レース行われ、各予選の上位4名が直線350mの決勝レースに出直し、予選・決勝のポイント合計の最も多い選手が代表になるという方式で争われました。結果は、高橋駆さん(小学6年生)が予選決勝ともに1位で完全優勝。昨年、一昨年ともに僅差の2位で代表の座を逃した雪等を果たしました。



## 8月3日(木) 関東地区代表決定戦 JRA競馬学校「関東地区代表決定戦」

例年JRA馬事公苑で実施されてきた関東地区代表決定戦は、同苑が東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の馬術競技会場となること決定し、会場整備工事のための休苑期間中であることから、8月3日、史上初めてJRA競馬学校での開催となりました。部班競技による技術審査とジムカーナ(指定された経路を走るタイムレース)により、エントリーのあった総勢11名から5名を選出。代表決定戦はダートコース直線300mで行われました。揃ったスタートから、レース中盤で後続を引き離した佐藤翔馬くん(中学1年生)が見事に優勝。第4回、第6回に続く3度目の関東地区代表の座を射止めました。



## 9月10日(日) 東海地区代表決定戦 JRA中京競馬場「2017感謝祭」

東海地区代表決定戦は9月10日、JRA中京競馬場で催されたイベント「2017感謝祭」において、ダートコース直線300mで行われました。秋晴れの下、総勢4名のエントリーがあった代表決定戦では、好スタートを決めた水口乗馬クラブ所属の高木蒼くん(中学1年生)がゴールまでリードを保ち、2着に約4馬身の差をつける鮮やかな逃げ切り勝ち。東京競馬場で行われる決勝戦への出場を決めました。



## 8月27日(日) 九州地区代表決定戦 JRA宮崎育成牧場「馬に親しむ日」

九州地区代表決定戦は、8月27日、JRA宮崎育成牧場の「馬に親しむ日」のメインイベントとして行われました。今年は東京行きの切符2枚を争う代表決定戦には、合計14人馬がエントリー。まずダート直線300mの予選3レース(各レースは4~5頭立て)が行われ、各レース1・2着の計6人馬が代表決定戦に進出。代表決定戦はダート直線300m、6頭立てで行われ、スタート良く抜け出した源川京汰くん(中学1年生)がそのまま逃げ切り優勝。2着入線の小田大くん(中学1年生)とともに、見事九州地区代表に選出されました。



第1回 ジョッキーベイビーズ (平成21年11月8日)	着順	馬番	騎手名	代表地区
	1	①	木村拓己くん	北海道
	2	⑤	奥村亜季さん	長野
	3	②	広瀬 楓さん	北海道

第3回 ジョッキーベイビーズ (平成23年11月6日)	着順	馬番	騎手名	代表地区
	1	③	石井李佳さん	関東
	2	⑤	永井孝典くん	長野
	3	⑥	名倉賢人くん	関西

第5回 ジョッキーベイビーズ (平成25年11月3日)	着順	馬番	騎手名	代表地区
	1	④	斎藤 新くん	関東
	2	⑦	松本大輝くん	関西
	3	⑧	吉永彩乃さん	九州

第7回 ジョッキーベイビーズ (平成27年10月11日)	着順	馬番	騎手名	代表地区
	1	①	大池峻馬くん	北海道
	2	⑤	津本 柁くん	長野
	3	⑥	吉田彩音さん	東海

第2回 ジョッキーベイビーズ (平成22年11月7日)	着順	馬番	騎手名	代表地区
	1	③	渡邊亮介くん	関東
	2	④	川島はるかさん	関東
	3	①	福久紗蘭さん	北海道

第4回 ジョッキーベイビーズ (平成24年11月4日)	着順	馬番	騎手名	代表地区
	1	⑥	小林勝太くん	長野
	2	④	青木一馬くん	関東
	3	②	大池凜奈さん	北海道

第6回 ジョッキーベイビーズ (平成26年10月12日)	着順	馬番	騎手名	代表地区
	1	⑦	角田大和くん	関西
	2	⑥	伴 凌次くん	東海
	3	⑧	吉永彩乃さん	九州

第8回 ジョッキーベイビーズ (平成28年10月9日)	着順	馬番	騎手名	代表地区
	1	②	上薄龍旺くん	九州
	2	③	久保孝太くん	関西
	3	⑦	加藤雄真くん	東北・新潟

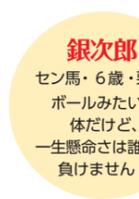
## 出走予定ポニー紹介



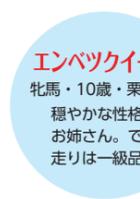
**ドリームスター**  
セン馬・11歳・鹿白斑  
いつも優等生なドリスタ！  
レースでも優勝を目指します！



**ハシヨウボーイ**  
セン馬・7歳・栗毛  
やんちゃな性格！  
レースでもガンガン走ります！



**銀次郎**  
セン馬・6歳・栗駒  
ボールみたいな体だけど、  
一生懸命さは誰にも負けません！



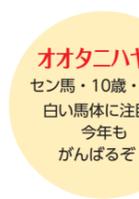
**エンバクウイン**  
牝馬・10歳・栗白斑  
穏やかな性格のお姉さん。でも走りは一級品！



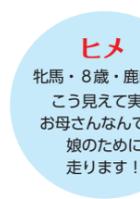
**ゴット**  
セン馬・6歳・栗毛  
トレードマークは金のたてがみ！  
全力で走るよ！



**栗姫**  
牝馬・9歳・栗白斑  
いつも元気なおてんば姫。  
やるときはやります！



**オオタニハヤテ**  
セン馬・10歳・芦毛  
白い馬体に注目！  
今年もがんばるぞ！



**ヒメ**  
牝馬・8歳・鹿白斑  
こう見えて実はお母さんなんです。  
娘のために走ります！

※9月25日現在の情報で、馬の体調等により変更する場合があります。

注目の決勝レースは、いよいよ10月8日(日)、東京競馬場で行われます。お楽しみに!!

※天候その他の理由により、イベントを中止または変更する場合がございます。予めご了承ください。

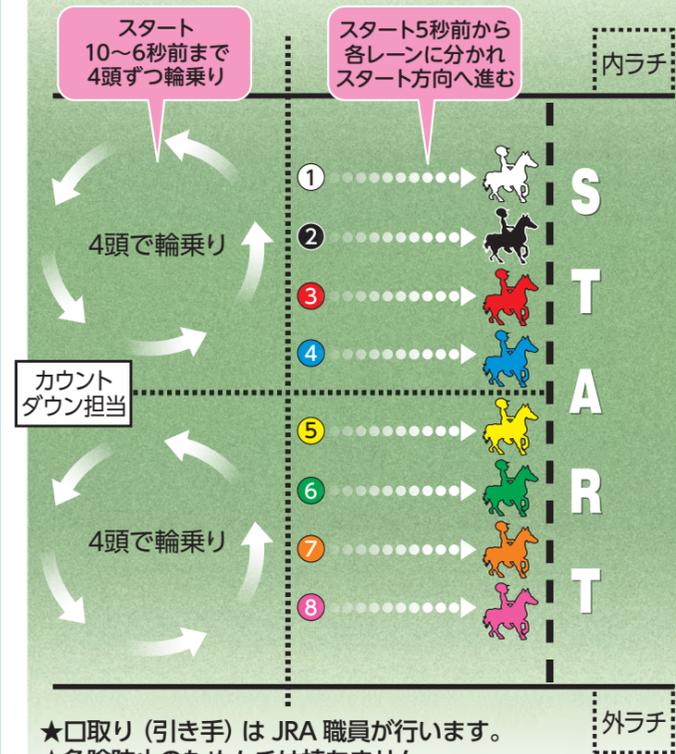
★ジョッキーベイビーズ公式ホームページ

ジョッキーベイビーズ

検索



## スタートの方法 (カウントダウン方式)



★口取り(引き手)はJRA職員が行います。

★危険防止のためムチは持ちません。

※ポニーはゲートの練習をしていません。制止させ一斉に引き手を放すやり方では、馬がよれる可能性が高まり危険なため、上記スタート方法を採用しています。

**JRA 東京競馬場**  
東京都府中市日吉町1-1

【交通】  
京王線・府中競馬正門前駅  
から徒歩2分  
京王線・東府中駅  
から徒歩10分  
JR府中本町駅から徒歩5分  
西武多摩川線・是政駅から  
徒歩10分

【入場料】200円